

令和2年度に県内森林組合が補助金を活用して実施した森林整備事業についてお知らせします。

このページは、平成29年4月に実施した「県内森林組合系統の信頼回復に向けた行動宣言」に基づきお知らせするものです。

県下の全18組合が令和2年度に森林経営計画に基づき補助事業を活用し実施した森林整備事業の概要です。森林を守ることは、地道な作業を長い年月を費やして行なわなければ成し得ません。森林組合に従事する役員は社会的使命と公益的な性格を持つ組織として、より一層の団結の下、林業作業における高い生産性、安全性の確保を目指し、路網、高性能林業機械を活用したコストの低減を図りながら、長野県の森林を未来に継承していくため引き続き森林整備を促進してまいります。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

参考：各森林組合のホームページにおいても公表しています。

県内森林組合が補助金を活用した森林整備事業の概要(令和2年度)

森林組合名	施業面積(ha)		搬出材積(m ³)	作業道(m)	事業費(千円)	補助金(千円)
	搬出間伐	以外				
南佐久北部	6	19	728	1,959	13,531	11,219
南佐久中部	20	52	2,217	10,015	83,011	60,541
南佐久南部	27	2	2,180	4,185	24,086	20,341
佐久		112			30,639	28,743
信州上小	75	275	6,684	10,218	257,981	174,933
諏訪	15	36	1,287	1,184	28,098	22,072
上伊那	170	197	27,555	10,890	342,980	251,018
飯伊	148	338	8,531	4,295	183,087	157,421
根羽村	11	18	1,516	836	16,209	10,390
和合		32			13,946	12,813
木曾	120	105	9,452	14,896	205,016	147,237
木曾南部	1	13	57		4,077	2,567
南木曾町	13	18	2,043	1,235	17,619	16,148
松本広域	62	174	3,824	16,619	186,014	173,945
北アルプス	4	8	275	411	16,491	9,542
長野野	186	297	23,371	21,635	292,819	173,081
北信州	77	7	10,365	7,858	109,631	47,127
栄村	8	19	740	2,460	16,539	11,354

(小数点以下は四捨五入処理しています)

★ 森林づくりの進め方

小規模な森林をまとめて「森林経営計画」を立てます。

森林経営計画とは、「森林所有者」又は「森林の経営の委託を受けた者」が、自ら森林の経営を行う一体的なまとまりのある森林を対象として、森林の施業及び保護について作成する5年を1期とする計画です。

一体的なまとまりを持った森林において、計画に基づく効率的な森林の施業と適切な森林の保護を通じて、森林の持つ多様な機能を十分に発揮



森林組合の職員が、間伐の方法、路網の整備、木材の販売方法など具体的なご提案を持って、森林所有者の皆様へ説明に伺います。

事業実施まで

- ① 森林組合からの説明と提案
- ② 長期施業委託契約の締結
- ③ 森林経営計画の作成
- ④ 事業の実施

搬出間伐とは

樹木の成長に伴って混み合ってきた林の立木を一部抜き伐りすることにより植栽木の不必要な競争をなくし、すくすく力強く育つようにする作業です。また、林床に太陽光が届くようになり、下草が生育しやすい環境ができ、土壌の流出防止にも繋がることから、土砂災害防止のためにも重要視される保育作業です。搬出間伐は保育の間伐と同じく植栽木の適正な密度管理のために行う作業ですが、林齢が比較的高い森林について、間伐で伐採したカラマツやスギ、ヒノキを木製品等に有効利用するものです。伐採した間伐材は、利用に適した長さに五切りし、木材センター等に運び、そこで製材業者等に販売します。

森林をまとめることで路網を整備し、作業の効率を高め、低コスト化を進めます。

危険な伐採作業をより安全に、効率よく進めるためには作業の機械化が必要です。また、木材を木材センター等へ送り出すためには、路網の整備が必要です。森林をまとめ(団地化)することで、森林の資源を無駄なく活用することができます。



高性能林業機械による作業(伐採・集材・造材等)



トラックへ積み込み



木材センターで仕分けて販売